



# 学校だより

1月号

令和2年 1月 8日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標	○すすんでまなぶ子	○たすけあう子	○げんきな子
--------	-----------	---------	--------

児童数 743名

## 『人間はすばらしい』

校長 関根 正佳



あけましておめでとうございます。新しい年、令和2年を迎えました。今年も元旦に、植竹小学校の校舎の屋上で、ゆっくりと昇ってくる初日の出を見ることができました。子どもたちの成長と健康を祈るとともに、保護者・地域の皆様方に支えられてきたことへの感謝と、植竹小学校の更なる発展に努めるよう心に誓いました。

2学期の終業式には、担任から通知票がわたされました。子どもたちには、「2学期に頑張ったことや良くなったところ、素晴らしかったことが書かれていると思います。みんなは気づいていなくても、担任の先生は、みんなのよかったところや力が伸びたところを発見してくれています。また、もう少しがんばれることや力が出し切れていないことも書かれているかもしれません。これからの学習や生活に生かせるよう、お家の人もよく話してみてください。」と話しました。子どもたち一人ひとりには「すばらしい力」があります。その力を、国語の教科書教材にも取り上げられている「大造じいさんとがん」の著作で有名な児童文学者 椋 鳩十（むく はとじゅう）さんは、『人間はすばらしい』という作品の中で次のように述べています。

・・・とんぼにしろ、ありにしろ、はちにしろ、へびにしろ、みんな、それぞれふしぎな力、「ふしぎな」というより「すばらしい」かなあ・・・『すばらしい力』が地球上にあるものぜんぶ、生きているものぜんぶに、あたえられている。『すばらしい力』をあたえられずに、生まれてきているものはひとつもない。・・・ところが人間は、動物として生きるための力のほかに、ひとりひとりに、それぞれべつべつの『力』をあたえられている。絵のじょうずなひと、歌のじょうずなひと、それから作曲のじょうずなひと、手さきのきょうな人・・・口のたっしやなひと、足のはやいひと、全員、それぞれね、『すばらしい力』を、きみたちは持つておる。・・・きみたちは、じぶんのなかにすばらしい『宝物』を、どんなひとでも、みんな、ひとりひとりが持つておる。・・・そういう力を出すために、勉強したり、本を読んだり、感動したりして、そうしているうちに、しぜーんと力がわいてくる。力がでてきたときに、初めて、『あ、じぶんに、こんな力があつたのかな。』と思う。・・・かならずきみたちは将来、それぞれの『力』を発揮すると思う。・・・

「人間はすばらしい」 椋 鳩十 〈偕成社〉から抜粋

椋 鳩十さんは、この作品の中で、「私が君たちと同じ年のころはね、作文は甲・乙・丙というの三つの成績にわかれていた。丙がいちばん下。わたしは卒業するまで、いつも作文は『丙』だ。いちばん下だ。いちばん下だったけれども、ものを読んだりなんかすることが好きで、本を読んだり、書いたりしているうちに、ものを書いて生きる人間になったんだ。だーれも、わたしがこんな、ものを書いて、・・・生きるような人間になるとは、思わなかった。そんなふうにはわからんものだ、人間だけは・・・。」とも記しています。

子どもたちはみんな、『すばらしい力』をもっています。その力を認め、励ましそして褒めて、伸ばしていくことが大人の役割だと考えています。今年も保護者・地域の皆様方の御支援・御協力をいただきながら、全教職員「ONE TEAM」となって教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

